

山元町商店街朝市を見てきました

元気づくり推進協議会に参加して、山元町商店街が毎月朝市を行っていることを知りました。いつか地域のことから取材したいと思っていたのですが、チャンスがなかなかなくて実現してきませんでした。しかし、ついにチャンスに巡り合うことが出来ました。2月27日の日曜日に取材しました。

8時開始と聞いておりましたので、間に合うようにいけばよいかも考えましたが、せっかちな気質なので15分前に行きました。ところが既に住民の方々がお目当てのお店の前に並んでいるではありませんが！少し早く来てよかったです。

皆さんが並んでいるところに行くと、「8時前だけど開けましょうよ」なんて言葉が飛び交っていました。皆さん、順番にお店を回りたいのでしょう。購入するとすぐに次のお店に向かっていました。

この朝市について商店街の方からコメントを頂いていますので掲載させていただきます。

山元町二丁目商栄会の朝市は、2001年4月に商店街の活性化と地域の方への貢献を目的に企画・開催することとなりました。

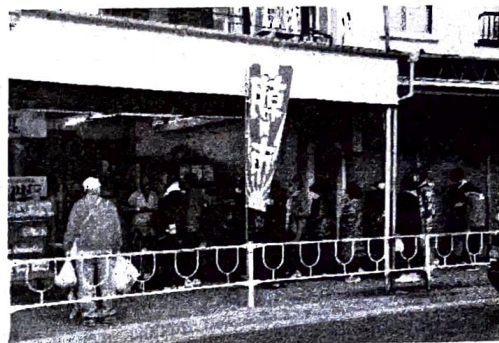
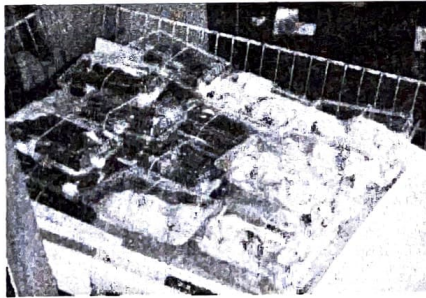
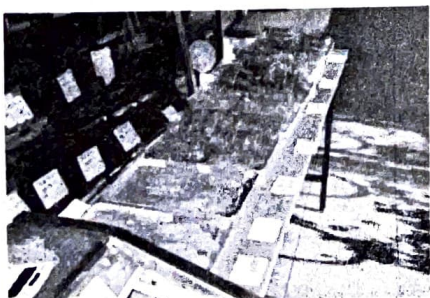
朝市では子供会と連携することで地域の小学生の一日店長を企画し、小学生に商業体験の場を提供したり、東日本大震災の復興支援でつながりの出来た宮城県山元町の「りんご」や「ぶどうジュース」などの販売で継続した応援も行っています。

人気の赤飯や饅頭、昔ながらのコロッケ、おしゃれなフレンチの惣菜、破格なお値段的な生花などにくわえて、有志が朝市の当日早朝に三崎まで仕入に行くマグロや新鮮な三崎野菜も評判です。

毎回お買い得でお得な商品をご用意してお待ちしておりますので、ぜひ一度ご来場ください。

(山元町二丁目商栄会 副会長 鬼島 勝治)

お忙しいところコメントを頂き感謝申し上げます。是非次回の山元町二丁目商栄会朝市に足をお運びいただけると、取材しましたわたくしもうれしい限りです。



当日は、野菜・海産物・ティッシュペーパー・揚げ物・お花・パン・お赤飯などの販売が行われていました。400円のお赤飯を買って帰ろうと並んだのが8時10分でしたが、既に売切れでした！残念。

地域のちびっこ集まれ

3回にわたって地域の子どもが竹で遊ぶ企画だったのですが、まん延防止措置期間が延長させてしまった結果、残念ながらその活動が本館で行われなくなってしまいました。

ただし、1月に切ってきた竹を配付する活動を3月12日に、児童8名と保護者4名、そして青指・スポ推・地域ケアプラザ・ふれあいサロンの皆さま合わせて18名で行いました。

きっと子供たちが家庭で保護者と一緒にこの竹と格闘して、楽しい作品を作ってくれるものと思っています。

わたくしも、この活動の中で亡き父が作ってくれた空気鉄砲を作ってみたかったです。コロナのまん延もきっと桜の時期には収まってくれるものとわたくしは信じております。

桜のもとで地域の皆さまが集う4月を期待しております。



元気づくり推進協議会主催 中なかいいネ！みんなで町づくりプロジェクト

先月実施予定でした『大正琴体験会』がようやく3月14日に開催にこぎつきました。

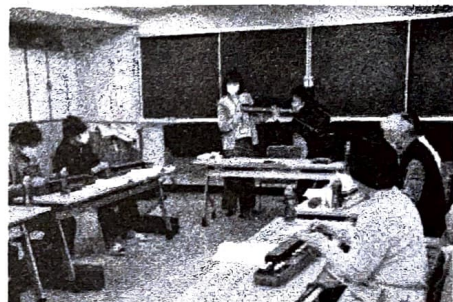
この取り組みは“中なかいいネ”の取り組みの一つで、前回本館で開催された『パソコン分解・組み立て講座』と同様に“えん結び”をテーマに行われました。

講師の中森扶美子さんとお仲間の3名が支援に入って、5名の参加者と一緒に大正琴の基本の学習会となりました。ものの20分ほどで、全員で『きらきら星』を合奏していました。

大正琴は中森様を中心に本館で練習されていますので、これを機会に輪が広がって欲しいなあ！と思いました。

開催日やその内容をお知りになりたい方は、本館にお問い合わせください。(TEL212-9099)

その時に、箕沢地域ケアプラザの金沢様から“もしも手帳”の紹介がありました。この手帳の内容はわたくしたち高齢者にとっては大切な内容だな！と感じましたので写真を掲載しておきます。箕沢地域ケアプラザで手に入るとのことです。



来年度の自主事業の情報です

残念ながら3月の自主事業を中止しました。学校の中にある山元小学校コミュニティハウスですから、慎重に行動すべきと判断しました。楽しみにされていた皆様のご期待を裏切ることになり心苦しくっております。

4月からスタートする新年度はきっと順調に開催できるように準備したいと思っております。

新年度新しくスタートする自主事業についてここでPRしておきます。

○ 紅茶講座

本年度は開催されませんでしたが、久しぶりに紅茶講座の復活です。講師は戸塚由以子様です。自己紹介を頂いておりますのでご紹介いたします。

戸塚由以子（とつかゆいこ）

ブルックボンド社認定 ティーコーディネーター

内閣総理大臣・経済産業大臣認定 消費生活アドバイザー

COLOR&PC認定 カラーセラピスト

一般社団法人日本プロカウンセリング協会認定 心理カウンセラー

〈ハーブと紅茶との出会い〉

小学生時代、少女雑誌「なかよし」に連載されていた漫画の主人公が作っていた「ポプリ」に興味を惹かれ、ハーブの第一人者 熊井明子さんの著書を読み影響を受ける。その後も日本で最初にハーブを取り扱った原宿の「生活の木」に足しげく通い、ポプリ作りに専念。自宅庭のバラや季節の花を乾燥させ、オリジナルのポプリを作るのが趣味だった。

大学ではイギリス文化史を専攻、「茶と接する」という題目で卒業論文に携わったのが、紅茶をはじめとする茶の文献の最初の関わり。その後イギリスを訪れた際、文献で紹介されていたヴィクトリア時代の茶器を実際に美術館で見ることができ、深い感銘を受ける。それを機に在職中に銀座にあるブルックボンド社の紅茶講座に参加、最初は単に趣味のつもりだったが、惹き込まれ深く追求したくなり、数年かけてティーコーディネーターの資格を取得した。

育児中は、紅茶の世界から少し離れたが、子どもが幼稚園に入り、少しの空き時間を活用し、自分の経験を伝えたく、子育てママさん向けの紅茶講座を行うことから活動を開始。

その後講座を進めるにあたり、カラーセラピーの手法も取り入れるべく、セラピーやカウンセラーの資格を取得し、幅広い内容を伝えられるよう精進している。更に直近の消費生活センターでの勤務経験より、消費者被害などの防止にお役に立てたら幸いです。

本館スタッフ鈴木さん・市民図書世話人野村さんが退職いたします

主に夜の開館事務を4年間にわたって担当していただいた鈴木良太郎さんと市民図書世話人を8年間ほど勤めて頂いた野村克子さんが、この3月末をもって退職いたします。

長年にわたって本館の運営および地域の皆さまへの支援にあたって頂いたことに感謝いたします。

4月よりは、スタッフとして山村哲男さんと市民図書世話人として奥田いずみさんが勤務することになりますので、よろしくお願いいたします。

箕沢地域ケアプラザの活動が本館を使用して行われています

元気づくり推進協議会の事務局がある箕沢地域ケアプラザと本館は切っても切れない関係にあるように感じております。本館が地域活動の舞台になっていることをうれしく思っております。令和4年度もぜひとも連携して地域を支えるコミュニティハウスを目指したいと思っております。

3月16日（月）14時から本館で『知って防ごう！シニア版体力測定会』が実施されましたので、当日は9名の方のご参加で、身長・体重



測定、握力、開眼片足立ち、5M 歩行、椅子立ち座りテスト、足趾力の測定が行われました。その様子をお伝えします。

この企画の中心となっておられます横浜市箕沢地域ケアプラザ地域包括支援センター保健師 田嶋瑞帆様からコメントを頂いておりますので掲載させていただきます。

3月16日に高齢者向けの体力測定会を実施しました。体力測定会は、①現在の身体能力を把握する、②自分にあった介護予防・健康づくりの取組につなげる、③経年の変化を把握して活動の継続につなげることを目的に実施しており、ご自身のフレイルチェックを行うことができます。フレイルとは、加齢に伴って体力や気力が低下した状態のことです。フレイルの状態を「年のせいだから」と放っておくと、健康寿命（元気に自立して過ごせる期間）に影響を及ぼす危険性がありますが、フレイルの状態を早期に発見し適切な介入を行うことで予防や改善をすることができます。ぜひ体力測定会にご参加下さい。



編集後記

今月もお読みいただき感謝申し上げます。

実は今月をもちましてこの『山元小学校コミュニティハウス瓦版』は終了となります。

わたくし金子は今月の31日をもって退職となるからです。次期館長が引き継いでいただければ継続もあるのですが、次の方に仕事を押し付けるのも気が引けますので、これで終了といたしました。わずか12号の発行でしたが、お読みいただき感謝申し上げます。

この瓦版を通してコミュニティハウスの活動ぶりを紹介して、皆さまの利用の拡大を図って作ってきましたが、あいにくコロナのまん延と重なり十分にその目的の達成には至りませんでした。

また、地域のお話も扱いたいと思っておりましたが、構想は大きくなるのですが、実行が伴わず十分に地域のお話も扱うことが出来なかったことが悔やまれます。

また、男性の利用拡大なんかも意識して、わたくしの趣味のプラモデル写真を掲載してまいりました。

本館では高齢男性利用率が低い傾向が続いております。ぜひとも高齢男性が趣味を本館で楽しむことが出来るようにするための呼び水にしたい思いもありました。

館長自身が自主事業の講師をしてはならないという縛りがなければ、“プラモデルと一緒に作ろう講座”・“切り絵で季節を彩ろう講座”はたまた、“もう一度、中学校社会科歴史授業を学ぶ講座”なんてしてみたいかっただい思っています。

本館では多くの団体が毎日様々な活動を行っております。是非、覗いて頂き・体験していただき、その仲間に加わっていただきたいと思います。

このコミュニティハウスが地域の“元気”の源になることを祈念して、筆を置くことにいたします。

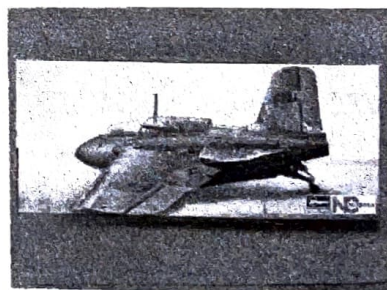
皆様、ありがとうございました。

模型の話を載せませんと瓦版らしくないので、写真を2枚掲載します。

1枚は変わり種のプラモデル。堀江謙一のマーメイド号です。（1989年発売）風に向かって帆走するというのが書かれていました。作っていないのでわかりませんが！



もう1枚はこんなボックスアートもあるんだ！とわたくしなりにびっくりした『秋水』の模型（1995年発売）。試験飛行に失敗し追浜飛行場に墜落した場面が描かれています。



（この館の新しい船出を示す写真とわたくしの構想の挫折を示す写真になってしまいました）

ご報告 長く体育館で活動されていた山一チームが本年度末をもって解散すること。残念です！